

令和6年度第1回茨城県内3機関公共工事入札監視委員会議事概要

開催日及び場所	令和6年11月29日(月) 14時から 筑波大学本部アネックス棟1階会議室2、3		
委員	委員長 堀越 智也 (つくば中央法律事務所) 委員 山田 正美 (つくば市建設部次長) 委員 齋藤 健 (公認会計士齋藤健事務所)		
審議対象期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日		
個別審議案件(合計)	5件	(備考) 個別審議案件については、各発注機関の担当者から説明し、委員からの質問等への回答を行った。	
建設工事(小計)	4件		
一般競争入札 (政府調達に関する協定対象工事)	0件		
一般競争入札 (上記工事を除く)	4件		
工事希望型競争入札	0件		
通常指名競争入札	0件		
随意契約	0件		
設計・コンサルティング業務(小計)	1件		
簡易公募型プロポーザル方式(拡大)	0件		
一般競争入札	1件		
随意契約	0件		
委員からの意見・質問、 それに対する回答等	意見・質問		回答
	別紙のとおり		別紙のとおり
委員会による意見の具申 又は勧告の内容	なし		

建設工事及び設計・コンサルティング業務における個別審議案件

令和6年度

番号	発注機関	建設工事及び設計・コンサルティング業務
①	筑波大学	筑波大学生物・農林学系F棟屋上防水他改修工事
②	筑波大学	筑波大学ソフトテニスコート困障改修工事
③	茨城大学	茨城大学（中成沢）ライフライン再生（実験排水設備）工事
④	筑波技術大学	筑波技術大学天久保地区他消防設備等改修工事
⑤	筑波大学	筑波大学科系修士A・B棟等Ⅱ期改修設計業務

意見・質問等	回 答
<p>1 令和5年度第1回茨城県内3機関公共工事入札監視委員会議事概要について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特になし <p>2 令和5年度に発注した建設工事及び設計・コンサルティング業務について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ マレーシアでの契約金額がマレーシアリングットのまま公表されているが、円換算でどの程度か。 <p>3 審議対象建設工事等に関する点検事項について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特になし <p>4 令和6年度第1回茨城県内3機関公共工事入札監視委員会審議案件について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特になし 	<p>(事務局より説明)</p> <p>(事務局より説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1マレーシアリングットは、日本円で33円程度だったと記憶している。 <p>(事務局より説明)</p> <p>(事務局より説明)</p>
<p>5 個別審議案件の審議について</p> <p>①筑波大学生物・農林学系F棟屋上防水他改修工事</p> <p>※入札参加者数に対して、低入札業者の割合が高い事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 入札した各社で金額に開きがあるようだが、それぞれの会社の工事における品質面について、どのような印象を持っているか。 	<p>(発注部局より説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 入札した全社について、過去実際に工事を請け負ってもらったことがあるかどうかまでは確認していないため、一般論ということになるが、安かろう悪かろうの業者がいないわけではないと思う。しかし、一方で私ども施設部の中に施設担当の専門職員がいるので、やはり、そのような業者に対しては、我々が現場で指導しながら、一定の品質を確保するというところでこれまでやってきたところである。

<ul style="list-style-type: none"> ・ 共通費は各社が努力しているのか、それとも積算のほうが少し高めだったのか、そのあたりはどうか。 ・ 直接工事費はどれくらい開きがあったのか。 ・ 低入札価格調査を行っているが、削減の理由として直接工事費ではどのようなところであったか。 ・ 競争参加資格の資格要件を2級建築施工管理技士「仕上げ」としているが、本工事は防水がメインの工事であると思われ、他にも防水の資格等もあると思うが、その辺は「同等以上」という記載で読めるということか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 要因として、2つのケースが考えられると思っている。共通費に係る予定価格は、一定の決められた計算方法があり、それに基づいて算出しているが、一方業者の方は、それぞれ会社なりの見方があるため、そこで開きが出たのではないかというところが一つ。もう一つは、今回の工事は、防水、外壁改修ということで工種が限られているが、そのようなケースにおいては、共通費が低めになっているケースが過去においても散見される状況にあること。特に今回は、それらが相まって、このような結果になったのではないかと推察している。 ・ 予定価格に対してみると、各社6割から8割の間くらいに入っている。 ・ これまでも本学での工事実績があり、効率的な施工が可能であること、近隣で別の工事を施工中であり、同様の資材を安価に調達できることなど、そのような要因で直接工事費部分、特に材料のところ而努力されていることを確認している。 ・ そのとおりである。
<p>②筑波大学ソフトテニスコート囲障改修工事 ※競争入札において1回目の入札で、高落札率で落札した事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 予定価格の積算にあたって、複数社から見積をとったとのことだが、何社から徴取したのか。 ・ その見積額のうち、最低価格を予定価格にし 	<p>(発注部局より説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 4社から徴取した。 ・ そのとおりである。

<p>たということか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2社しか応札していないが、他の参加事業者からは見積をとっていたのか。 ・ 他の2社ないし3社は、競争参加資格にある資格要件に該当していたということによいか。 ・ 入札に参加されなかった理由は確認していないのか。 ・ 時期的なものや工事の規模感というものがあると思うが、工種的にはそれほど難しい工種ではないように思えるので、できる限り多くの参加者がいて競争性があったほうがよいと思うので、そのへんの配慮をお願いしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今回の工事は防球ネットであるので、他の参加事業者からはとっていないかと思うが、確認のうえ回答する。 ・ 該当していた。 ・ 直接確認したわけではないが、令和6年1月という年明けぐらいの時期で、全般的に技術者の配置が難しいなど、受注先を探すのも大変な時期であったので、もしかしたらタイミング的にそのような要因で参加されなかったのではないかと推察する。 ・ 承知した。 ・ 先ほどの質問にあった、見積をとった4社の中に他の参加事業者が入っていたかについてであるが、他の参加事業者からも見積をとっていたことを確認したので回答する。
<p>③茨城大学（中成沢）ライフライン再生（実験排水設備）工事 ※競争案件において、参加した業者が1者であった事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 工事の概要をもう一度教えていただきたい。 ・ いつ頃設置されたものか。 	<p>（発注部局より説明）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 屋外に実験用の排水管があるが、老朽化によりひび割れや漏水しているため、それを全面的に改修、改善する工事である。 ・ 設置年度で異なるが、30年経過したものが大半を占めている。接続部等は部分的に新しいものもある。

<ul style="list-style-type: none"> ・ 「団地構内」との記載があるが、どのようなところか。 ・ 入札した業者は、以前から取引のある業者なのか。 ・ 30年前に工事した業者とは別の業者か。 ・ 総合評価落札方式ということだが、総合評価落札方式にする取り決めや理由はあるか。 ・ 予定価格が5,000万円以下は一般競争（最低価格）ということによいか。 ・ 総合評価落札方式において、今回は1者入札になってしまったということだが、1者入札でも問題はないということによいか。 ・ 本件は、再公告であったということだが、1回目の入札はどのような状況であったのか。また、入札参加者はいたのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 茨城大学は、水戸と日立と阿見にキャンパスがある。今回は、日立キャンパスがある中成沢というところが工事対象になっており、日立キャンパス全体を一つの団地という見方をしている。 ・ 取引のある業者である。 ・ 別の業者である。 ・ 予定価格が5,000万円を超える工事については、総合評価落札方式をとっている。また、本件に関しては学内の総合評価審査委員会を立ち上げており、総合評価での審査対象工事ということ及び総合評価に係る評価基準等についても審議いただいている。 ・ そのとおりである。 ・ 問題はない。 ・ 入札説明資料をダウンロードした会社は10社ほどあったが、設計資料を要求いただいた会社は5社に減った。最終的に1回目の競争に参加していただいた業者は3社であったが、入札に至っては、1社が辞退したため2社応札となった。入札の結果、落札者はおらず不落随契協議を行ったが、金額の差異が大きく不調となり、再公告することになった。 再公告にあたり、入札に参加いただいた業者等にヒアリング調査及びアンケート調査を実施したところ、工期に問題があることが判明した。理由としては、年度末の繁忙期であること、共通テスト等の大学の都合で工事期間に制約
--	---

<ul style="list-style-type: none"> ・ 管更生工法にしたことが、参加業者数が少なくなった原因でもあるのか。 ・ 競争参加資格について、土木工事又は管工事とした理由はなにか。また、いつもこのような形をとっているのか。 ・ 状況は理解できたが、また同じような状況になった場合に、1者応札になったり、不落になったり、同じことが続くのではないかの懸念がある。例えば今回のケースであれば、時期をもう少し前倒しにするとか、工期をもう少し広げるとか、そのような対応があれば違ったのではないか。 また、資料6の2の事後的な分析のところで記載があるが、より多くの業者に競争入札に参加いたただけるような環境を提供することは可能か。 	<p>があることがあげられた。その他、他社の受注工事と工期が重なった関係上、監理技術者が配置できないということで参加を見送った会社もあった。</p> <p>工期が厳しいという意見があったことから、工法を見直し、開削工事から工程的には短い期間で済む管更生工法に変更するなど、履行期限内に納まるかとういことも含めて検討を行った。その結果、1者応札ということであったが、受注いただけたという結果になった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 要因としては時期的なところが大きいと推察している。9月以降は市町村をはじめ我々の工事以外にも入札があり、時期的に早いところや、技術者の配置が決まってしまうと、我々の工事発注時期が遅くなった場合、辞退せざるを得ないという話を伺っている。 ・ 設備配管工事としているが、開削工事は土木的要素もあり、設備工事でも屋外配管工事をやっているところもある。土木でも、道路の配管排水工事をやっている業者もある。それらを踏まえ学内で協議し、土木工事、設備工事の双方とも可能であると判断した。業者には工法的なところを含めヒアリングを行っているが、双方とも施工可能であると判断し参加資格を拡大したものである。 ・ 可能であると考えている。予算配分の時期は被ってくるが、極力早期にというのは可能であると考えている。なお今回は、再公告に1か月強の時間を要したことが大きく影響したと考えている。
--	--

<p>④筑波技術大学天久保地区他消防設備等改修工事</p> <p>※競争案件において、参加した業者が1者であった事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 資料をダウンロードしたのは3社ということだが、少し特殊な工事だと思えるので、そもそも参加可能な事業者はどれぐらいの数があったのか。 ・ 参加資格の設定が少し厳しかったということか。 ・ 受注された業者は、同大学での実績はあるのか。 ・ 本工事は、非常に特殊なものなのか。 ・ 競争参加資格要件の部分でハードルを少し高めてしまった感じか。 ・ 受注された業者とは、これが初めての取引だということだが、品質はどうか。 ・ 幅広に参加者がいれば、もう少しいいものができたということか。 ・ 更新工事となっているが、老朽化によるものか。 	<p>(発注部局より説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 普通の管工事業者であれば参加可能な工事であると考えていたが、入札に参加しなかった業者に確認したところ、消火ポンプについて下請けでの工事実績はいくつかあるが、元請での実績がないという回答だった。恐らくそのことが要因で他社も参加できなかったのではないかと考えている。 ・ そのとおり。 ・ 今回が初めてである。 ・ 我々としては特殊とは考えていない。一応、一般の配管工事の中に含まれるものであるが、消火ポンプと特定しているので、特殊と言えば特殊かもしれないが、工事内容としては一般の管工事と同じように捉えている。 ・ その可能性は否めない。 ・ 品質的には、特に悪いというわけではなく及第点である。 ・ その可能性は否めない。 ・ 平成2年に設置したもので約33年経っており、老朽化のため更新した。
--	--

<p>⑤筑波大学科系修士A・B棟等Ⅱ期改修設計業務</p> <p>※落札率が著しく低い事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 素朴な疑問だが、一番高いところと安いところとで4倍くらい差があるが、安く入札した3社はつながりを作るために頑張ったということもあるかもしれないが、設計は材料などそれほどかからないと思うので、設計だからという見方もあるのか。 ・ どの業者か。結構地元の業者が多いように見えるが。 ・ 予定価格は非公表か。 ・ 価格にかなり開きがあったというのは疑問なところだが、経験のある会社が予定価格を超えてるような状況もあり、今回、改修ということで、色んな見方があったのではないかと推察する。 資料37ページに落札者の決定についての記載があるが、本件は、最低基準価格を下回ったため調査をし、その結果、特に問題はないとして承認されたようだが、失格になるような案件はあるのか。 ・ 業者から齟齬があるような申し出があれば失格というか。 	<p>(発注部局より説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ そのような解釈もあるかもしれないが、37ページに落札者決定の理由を記載しているとおり、学校等の改修に関するこれまでの業務経験から、図面作成等々にそれほど手間をかけずにできるとか、地理的なこととかそういったものが積み重なっているのだと思う。 ・ 水戸市である。 ・ 契約後は公表している。 ・ 基本的には内容を確認して、相手方から出された実施できるという内容が合理的であれば我々としては認めている。例えば、書類上で齟齬があれば失格ということになると思う。 ・ そのとおりである。
<p>6 指名停止等の措置状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特になし。 <p>7 再苦情処理会議への申立状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特になし。 	<p>(事務局より説明)</p> <p>(事務局より説明)</p>

8 講評

- ・ 今回、抽出された案件は5件あるが、抽出された理由をもとに、それを説明するような資料が回を重ねるごとに増えていったと思うが、今回、質問に対して説明していただいた内容についてあらかじめ準備いただけるともっとスムーズに進んだのではないかと。抽出されている以上、抽出された理由が明確であるので、その部分の説明資料が事前にあるとよい。

- ・ 資料に関しては、今、お話があったとおり事前に目を通すことができればもう少しスムーズに質問ができるのではないかと、対応可能ならご検討いただきたい。

また、抽出対象となる点検事項の内容を拝見すると、やはりまだ1者応札が原因としてあると実感している。各大学の状況にもよると思うが、本日、お話を伺った中でも、事前に準備をすとか、工期をずらすとか、まだまだ1者応札を回避できるような余地があり、そのような対応をすればもう少し参加者が増えるのではないかと印象を持った。

今回点検事項の対象ではなかったが、筑波大学のマレーシア海外分校開校準備工事について、このような外国での工事は、国内での発注業務のフローとは違うというところが出てくると思うので、その工事の業種、レベル感など、いろいろ検討事項があると思うので、そのあたりをよく研究して実施したほうがよいと思った。

- ・ 1者応札について、入札参加者が少ないと入札不調につながることもある。各大学とも、居ながら工事や業務上の制約などがあって工期の確保が難しいところがあると思うが、工期を十分に確保していただき、発注時期についても検討いただくなど、参加者ができるだけ多くなるようにしていただくことによって、競争性が増し公平性も保たれると思うので、色々検討し

ながら進めていただければと思う。	
------------------	--